

KVK サーモスタット式洗髪シャワー KF260(Z)NE 〈各仕様共通〉 施工説明書

■施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結びつく可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはならない「禁止」の内容です この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

<p>湯水を逆に配管しないでください。給水管が右側、給湯管が左側に配管されていることを確かめてください。</p> <p>禁止</p> <p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。</p>	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>給湯に蒸気を使用しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p>温度調節ハンドルの目盛が、吐水温度と合っているか確認してください。</p> <p>注意</p> <p>取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならず、やけどをすることがあります。</p>	<p>ストレーナの清掃は止水弁又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。</p> <p>注意</p> <p>ストレーナをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>寒冷地仕様の場合 水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p>禁止</p> <p>水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>器具に強い力や衝撃を与えないでください。</p> <p>注意</p> <p>器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

<p>注意</p> <p>止水栓取り付け箇所や給水・給湯管との接続箇所は、点検口を設けるなど点検しやすい状態にしてください。</p> <p>注意</p> <p>点検ができないと万一漏水発生時には発見が遅れて家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>めっき部品は、ぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p>禁止</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをすることがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。</p>	<p>凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。</p> <p>注意</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
---	---	---

取り付け前に

- ① 使用水圧 (A=(給湯機の最低作動水圧)+(配管圧力損失))
 - (1) 瞬間給湯機との組み合わせ (設定条件 水温:25℃ 給湯機温度調節:高温 吐水温度:42℃ ハンドル全開) (比例制御式) 最低必要水圧: A+50.0KPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
 - (2) 貯湯式給湯機との組み合わせ (給湯・給水圧力) 最低必要水圧: A+50.0KPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
- ② 吐水ハンドルは全開で使用してください。給湯機が着火しない場合があります。
- ③ 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯機の給湯温度は、必要とする吐水温度より10℃以上高くしてください。なお、安全のため60℃給湯をおすすめします。
- ⑦ 給湯機からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯機を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 本製品は、改造(加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑩ シャワーホスを伝って水がキャビネット内に浸入するおそれがあります。水受けトレーの設置をしてください。
- ⑪ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

取り付け完成図と各部の名称 / 寸法図

<p>取り付け完成図と各部の名称</p> <p>シャワーヘッド、シャワースタンド、温度調節ハンドル、吐水ハンドル、吐水切換ボタン、ストッパー解除ボタン</p>	<p>寸法図</p> <p>W30-20 (取り付け穴 φ31~33), W35-16 (取り付け穴 φ36~38), R 1/2, シャワーホス長さ 1100</p> <p>A寸法: 一般地仕様 = 81以上 寒冷地仕様 = 110以上</p>
--	--

分解図 この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。

	<ol style="list-style-type: none"> 1 キャップ 2 ビス 3 温度調節ハンドル 4 ビス 5 ストッパーリング 6 ビス 7 温調側固定フランジ 8 取付フランジ 9 シートパッキン 10 デッキ厚調節パッキン 11 スペーサー 12 温調ボンネットユニット 13 本体 14 吐水ハンドル 15 吐水側固定フランジ 16 止水ボンネットユニット 17 サーモスタットカートリッジ 18 ふた 19 パッキン 20 フレキホース 21 ジョイント 22 逆流防止弁 23 ストレーナ (一般地仕様) 24 止水弁 (一般地仕様) 25 止水栓 (一般地仕様) 26 ニップル 27 ワン 28 止水弁 (寒冷地仕様) 29 水抜き栓付止水栓 (寒冷地仕様) 30 ストレーナ (寒冷地仕様) 31 水抜き栓 (寒冷地仕様) 32 押しボタン (寒冷地仕様) 33 パッキン 34 プラグ 35 キャップ 36 カブラー 37 水抜きユニット (寒冷地仕様) 38 パッキン 39 シャワーホース 40 シートパッキン 41 輪パッキン 42 スリップ板 43 フランジ 44 シャワースタンド 45 ストレーナ 46 シャワーヘッド 47 輪パッキン 48 整流器 49 ストレーナ 50 シャワーフェイス
--	---

取り付け手順 1

- ① 給水管内の清掃
配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。
- ② 止水栓の取り付け
止水栓はニップルを取り付け、ワンをはめ込んでから、配管に取り付けます。
(給湯管と給水管の間隔は、一般地仕様は81mm以上、寒冷地仕様は110mm以上で取り付けます。)
- ③ 部品の取りはずし
本体から右図の各部品をはずします。
- ④ 本体の固定
① デッキの板厚 t を確認します。
② 右表に従ってスペーサー及びデッキ厚調節パッキンを本体に取り付けます。
③ 本体はKVKマークを前向きにして、デッキの下からはめ込み、シートパッキンをはさみ、右側は吐水側固定フランジで、左側は取付フランジで固定します。

板厚 t (単位:ミリ)	1~3	3~6	6~9	9~12	12~15
デッキ厚調節パッキン	3枚	2枚	1枚	2枚	1枚
スペーサー	1枚	1枚	1枚	なし	なし

【注意】
締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと漏水するおそれがあります。

取り付け手順2

5 温度調節ハンドルと吐止水ハンドルの取り付け

- ① 温調ポンネットユニットの赤マークにストッパーリングの赤マークを同じ位置になるようはめ込み、ビスで固定します。
- ② 温調側固定フランジの表示ポイントが正面にくるように、ビスで固定します。
- ③ ハンドル金具の突起部と温度調節ハンドル内部の切り欠き部を合わせてはめ込み、ビスで固定します。キャップをはめ込みます。
- ④ 吐止水ハンドルを合わせてはめ込み、ビスで固定します。キャップをはめ込みます。

左側 温度調節ハンドル 右側 吐止水ハンドル

温調ポンネットユニット

キャップ

ビス

温度調節ハンドル

ハンドル金具

ビス

温調側固定フランジ

正面

表示ポイント

突起部

合わせる

下から見た図

切り欠き部

ストッパー解除ボタン

はめ込む

はめ込む

赤マークを合わせる

ストッパーリング

6 本体と止水栓の接続

図1のようにフレキホースで接続します。

【△注意】

- 接続は適切な工具（スパナ等）で締め付けてください。締め付け不足、締め付け過ぎにならないようにしてください。（締め付けトルクの目安=約2000N・cm）
- 図2のような無理な配管はしないでください。配管の抜けや亀裂や破損の原因となります。また、寒冷地仕様では水が抜けなくなります。

接続後、ナットが確実に締め付けられているか確認してください。

図1 図2

パッキン

フレキホース

パッキン

止水栓

止水栓

7 シャワースタンドの取り付け

シャワースタンドをフランジで固定します。

【△注意】

フランジの締め付けは、専用工具G11（別売）で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、シャワースタンドが緩んだり、ガタツキが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワースタンド

シートパッキン

専用工具 G11 (別売)

取り付け穴 φ36~38

輪パッキン

スリップ板

フランジ

5 ページ

8 シャワーホースの接続

① カプラーの締め付けを確認します。

【△注意】

- シャワーホース（寒冷地仕様は水抜きユニット）にカプラーが確実に締め付けられているか確認してください。緩んでいる場合は、増し締めしてください。（締め付けトルクの目安=約100N・cm）
- シャワーホースはねじらないでください。シャワーホースが破損するおそれがあります。

水抜きユニットを、パッキンをはさんでシャワーホースに接続します。その際、シャワーホースをプライヤー等で固定して締め付けてください。

【△注意】

- 締め付け不足、締め付け過ぎにならないようにしてください。（締め付けトルクの目安=約200N・cm）
- シャワーホースをねじらないでください。シャワーホースが破損するおそれがあります。
- シャワーホースのセレーション部以外には工具をかけないでください。シャワーホースが破損するおそれがあります。

② カプラーのキャップをはずし、スライダを下に下ろしてから、本体のプラグへカチッと音がするまで押し込みます。（スライダがすでに下に下りている場合もあります）

取り付け後、カプラーを引っ張ってはずれないことを確認します。

一般地仕様 寒冷地仕様

しめる

しめる

カプラー

カプラー

水抜きユニット

水抜きユニット

パッキン

シャワーホース

セレーション部

ここに工具をかける

シャワーホース

プライヤー等で固定

下ろす

スライダ

カプラー

カチッ

カプラー

カプラー

カチッ

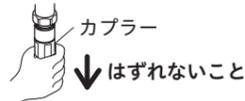
【△注意】

カプラー取り付け後、確実に接続されているか、以下の確認を行ってください。確実に接続されていないと、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。

・スライダが5mm程度上がっていること

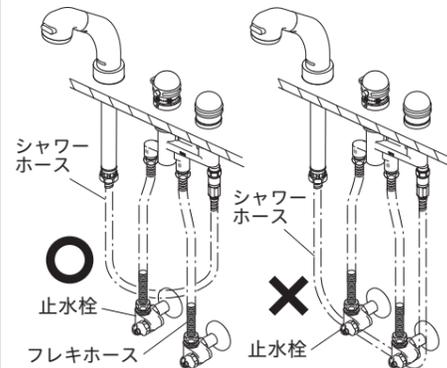


・カプラーを真下に引っ張ってはずれないこと



【△注意】

シャワーホースは止水栓に引っ掛けないで、フレキホースの後ろを通してください。シャワーホースが引き出しにくくなります。



洗面台に水受け用タンクがある場合 シャワーホースの出し入れを繰り返しても確実にタンクに収まるようにしてください。ホースとの接続の銅管部を曲げるにより左右に振ることができます。

6 ページ

取り付け後の点検と清掃1

通水確認

【△注意】

水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5~6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワーフェイス・ストレーナ清掃のお願い

シャワーヘッドのシャワーフェイス・ストレーナ、止水栓のストレーナにゴミ等がつかりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

➡ 取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

サーモスタットカートリッジの清掃方法

サーモスタットカートリッジにゴミがつかったり、水あか、汚れ等が付着した場合、吐水量が減ったり、温度調節がうまくできなくなったりしますので清掃してください。

【△警告】サーモスタットカートリッジの清掃は、止水弁又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。サーモスタットカートリッジをいきなりはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ① 湯水両側の止水弁〔2カ所〕又は元栓をしっかりと締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- ② ふたを取りはずします。
- ③ サーモスタットカートリッジの引き輪を起して取りはずします。
- ④ サーモスタットカートリッジをブラシで水洗いします。

清掃後は上記の逆の順に組み立ててください。

サーモスタットカートリッジ

ふた

湯側止水弁

水側止水弁

① しめる

① しめる

② はずす

③ はずす

④ 清掃

歯ブラシなど

サーモスタットカートリッジ

【お願い】

取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。

7 ページ

取り付け後の点検と清掃2

流量の調節方法

流量の調節は右記の方法で行ってください。

止水栓

湯側止水弁

あける

あける

しめる

しめる

水側止水弁

温度調節ハンドルの設定方法

温度調節ハンドルの目盛が吐水温度とズれている場合、温度調節ハンドルをはめ直してください。

➡ 取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
湯水が止まらない	止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴は、シャワーヘッド内の残留水です。故障ではありません		—
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ「流量の調節方法」
	シャワーフェイス・ストレーナにゴミ等がつかっていませんか	シャワーフェイス・ストレーナを清掃する	取扱説明書5ページ「シャワーフェイス・ストレーナの清掃方法」
	ガス給湯機と組合せて使用の場合、能力切替式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする	—
高温しか出ない	シャワーフェイス・ストレーナは凍っていませんか	シャワーフェイス・ストレーナにぬるま湯をかける	—
	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ「流量の調節方法」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ「流量の調節方法」
	必要とする吐水温度より、給湯機の給湯温度を10℃以上上げる		—
温度調節がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ「流量の調節方法」
	給湯機から十分な湯がきていますか	給湯機の設定温度・作動を確認する	—
	シャワーフェイス・ストレーナにゴミ等がつかっていませんか	シャワーフェイス・ストレーナを清掃する	取扱説明書5ページ「シャワーフェイス・ストレーナの清掃方法」
吐水が飛び散る	温度調節ハンドルの設定は合っていますか	温度調節ハンドルの設定を確認する	取扱説明書6ページ「温度調節ハンドルの設定方法」
	シャワーフェイス・ストレーナにゴミ等がつかっていませんか	シャワーフェイス・ストレーナを清掃する	取扱説明書5ページ「シャワーフェイス・ストレーナの清掃方法」
シャワーの吐水状態が不安定	熱源の温度を下げ（約60℃）、水側止水弁をしぼることにより、改善される場合があります		—

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

【△注意】 修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

8 ページ